

鉄道総研ホームページへの不正アクセスに関するお知らせとお詫び

鉄道総研のホームページの一部のサーバーに不正なアクセスがあり、同サーバーに保存されていた個人データが流出した可能性があることが判明しました。

関係の皆さまに多大なるご心配、ご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

1 発生事象

- 平成30年4月9日、鉄道総研のネットワーク内に不正なアクセスがあることが判明しました。調査の結果、侵入源は鉄道技術推進センター会員用ホームページ（以下「同HP」）用のサーバーであることがわかり、同HPへのアクセスを制限し（4月11日）、同HPの運用を停止するとともに、調査を継続しました。
- その後、4月17日から5月11日まで調査会社により詳細な調査を行った結果、次のような事象が判明しました。
 - ・同HPサーバーに保存されていた鉄道技術推進センター会員の個人データの一部が流出した可能性があることが判明しました。
 - ・弊所職員1名の個人データの一部が流出した可能性があることが判明しました。
- 当該事象に対する再発防止策を5月21日までに実施しました。
- 現在までのところ二次被害のご連絡等はありません。

2 関係の皆さまへのご報告等

- 鉄道技術推進センター会員の皆さまへのご報告等の状況は次のとおりです。
 - ・同HPの運用を停止する旨のご報告（4月17日）。
 - ・不正アクセスの調査結果、同HPのセキュリティ強化策、及び同HP再開予定日のご報告（5月11日）。
 - ・不正アクセスされた個人データについてのご報告（5月14日）。
 - ・セキュリティ強化策の実施、及び同HPの再開のご報告（5月21日）。

なお、弊所においては全職員に対する注意喚起及びパスワード変更の指示等の対応を取りました。

3 今後の取組み

- 引続きセキュリティ対策を強化し、不正アクセスの防止に努めてまいります。